

③あ！凍結してしまった。そんなときはぬるま湯のご準備を

- 外にむき出しになっている水道管は、管に直接ぬるま湯をかけて様子を見てください。
- 蛇口は、タオルをあてて、ぬるま湯をかけると余熱も利用できて効果的です。(写真3)
- ※熱湯は、水道管の破損ややけどなどの恐れがあるため、必ず**ぬるま湯**で行ってください。



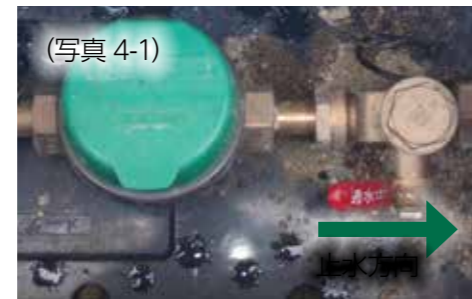
もしも、蛇口が凍結したときは、写真のようにタオルをあててから、ぬるま湯をかけてください。熱湯をかけると水道管などが破損する場合があります。



熱湯を使うのは駄目だゾウ！

④もし、水道管が破損して水が漏れだしたら…どうする!?

- 敷地内にあるメーターボックス内の止水栓を閉めて、市水道工事指定店へ連絡し、修理を依頼してください(写真4-1、4-2)。宅内給水管の修理については、自己負担となります。市水道工事指定店は、市ホームページに掲載しています。インターネット環境がない人は、企業局内に市水道工事指定店一覧表を用意しています。
- ※自宅のメーターボックスの位置がわからない人も多数いるようです。事前に場所の確認をお願いします。



宅地内の配管で漏水が止まらないときは、水道メーターボックス内にある止水栓を回して止水してください。また、止水栓を年2回程度動かして作動状況の確認をお願いします。

※作動させても宅内の止水ができないときや止水栓が回せないときは、ご連絡をお願いします

⑤水のくみ置きをお願いします

漏水により水が不足すると断水になる可能性があります。寒波が予想されるときは、炊事やトイレなどの必要な水は、事前にくみ置きをお願いします。



備えあれば憂いなしだゾウ！

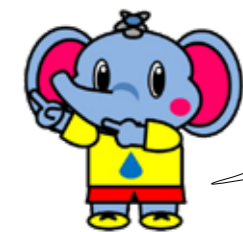
事前の対策が有効です 冬場の水道凍結にご注意ください ～冬の寒波対策をあらぞうくんがご紹介します～

平成28年1月25日～26日、氷点下6度以下の大寒波が押し寄せました。市内約2,000件で宅内漏水などが発生し、水不足による広い範囲での断水の可能性もありました。この冬の寒波に備えるために、次の点の確認をお願いします。

企業局お客様センター ☎ 64-3333

①冬の水道管の凍結にご注意ください!

外の気温が氷点下4度以下になると、水道が凍結しやすくなります。特に屋外、北側で日が当たらない場所、風当たりが強いところ、むき出しになっている水道管は注意が必要です。



寒い日、特に屋外の水道管の凍結には気を付けてるんだゾウ

企業局マスコットキャラクター「あらぞうくん」

②凍結を防止する対策はどんな方法があるの?

- むき出しになっている水道管を、発泡スチロール製の保温材などで保温します。(写真1)
- 屋外の蛇口に、乾いたタオルなどで保温して、水に濡れないようにビニールテープなどで包む簡易対策も一定の効果があります。(写真2-1、2-2)
- 家の中の水道を少し出しておきます。(水道料金は加算されますので、出しすぎにご注意ください)
- 給湯器などは、各機器の取扱説明書で、凍結防止対策を確認します。また、取扱説明書がない場合は、購入した販売店に尋ねてください。
- 長期間、家を留守にする場合は、メーターボックス内の止水栓を閉めておきます。



保温材が破けている場合は取り替えてください。簡易的にビニールテープで巻くのも一定の効果があります。



これが、保温材です。材質は、スポンジのようなものです。外側の水道管などに巻いてあるか確認をお願いします。ホームセンターなどでも販売しています。



外栓がある場合、蛇口が一番凍結しやすいので、乾いたタオルを巻いて、ビニールテープなどで包んでください。



水道管も寒さが苦手だから保温してあげるといいゾウ